

平成25年度 公益財団法人福岡市スポーツ協会 事業計画

I 事業方針

1 基本方針

平成25年度については、公益財団法人へ移行後の、更なる経営基盤の強化や新たな事業展開を行うための、今後10年間の活動指針として策定した「スポーツ推進プラン」の4つの重点項目（①地域スポーツの振興と市民の健康づくり，②スポーツを通じた子どもの健全育成，③スポーツ人口の拡大と競技力の向上，④公益財団法人としての組織づくり）ごとに策定した「実施計画」を積極的に推進していきます。

事業の実施にあたっては、それぞれ所管する専門委員会等の基本方針に基づき、確実な推進を目指すとともに、企画調整委員会において、適切に進行管理していきます。

また、本協会が管理を行う公共スポーツ施設については、地域や市民と共に歩む施設を目指し、職員の資質向上に努めていくとともに、利用者サービスの更なる向上と幅広いスポーツ機会の提供を行い、指定管理における模範的・先導的役割を担うなど、スポーツ環境の充実に努めます。

2 各専門委員会等

(1) 財務強化委員会

本協会事業の充実に資する財源を確保するため、賛助会員の継続加入を促進するとともに、地元有力企業や関係企業・団体を対象に新規会員の開拓を行います。

また、より自立した運営を行うため、新たな賛助会員制度の創設の検討など、安定した自主財源の確保と財政基盤の強化に努めます。

(2) 企画調整委員会

各委員会の情報収集や調整に努めるとともに、関係機関・団体との連携を深め、本協会諸事業の企画及び実施を推進するため、「スポーツ推進プラン」及び「実施計画」について適切な進行管理を行います。

(3) 普及委員会

市民スポーツの祭典として、昭和62年から実施している「市民総合スポーツ大会」のさらなる充実に資するとともに、市民の多様なスポーツ活動におけるニーズに応える観点から、各種の「スポーツ教室」を実施し、スポーツ人口の拡大を図ります。

併せて、加盟団体が持っている専門性や指導者を活用して、地域のスポーツ活動の活性化を図っていきます。

(4) 強化委員会

加盟団体の一層の組織整備・競技力向上、指導者養成を図るための事業の充実、ならびに今後の支援事業のあり方を検討していきます。

また、競技力向上を図るため、特にジュニア層の強化に取り組みます。

さらに、県民体育大会の上位入賞を目指すとともに、スポーツを通じた国際交流事業を推進します。

(5) 広報委員会

加盟団体が持つ情報をはじめ、スポーツに関する幅広い情報の収集を行い、広く市民に提供します。

特に、本協会ホームページや広報誌・情報紙のなお一層の充実を図るとともに、加盟団体からの情報発信や広報活動のサポートなど、より親しみやすい広報に努めます。

(6) 表彰委員会

本市スポーツの普及と振興に寄与し、その功績が顕著な団体及び個人、また各スポーツ大会において良好な成績を収めた団体及び個人に対して、表彰を行います。

加えて、賛助会員など本協会の活動を支援する団体や個人への表彰制度について検討します。

(7) 福岡市スポーツリーダー・バンク運営委員会

市民からのスポーツ指導者派遣要請に対し、スポーツリーダー・バンク登録指導者を積極的に派遣・紹介するとともに、市民のニーズにあった指導者確保、資質向上に努めます。

また、この制度を幅広い市民に活用していただくため、地域・スポーツ団体との連携を図り、広報活動も積極的に推進していきます。

(8) 福岡市スポーツ少年団

「21世紀を担う子どもたち」へのスポーツ環境の醸成を積極的に推進するため、少年スポーツの中核を担っているスポーツ少年団に対する理解と認識を高めるとともに、スポーツ少年団登録単位団の加入促進に努めます。

また、スポーツ少年団本部の自主的・自立的な運営を目指すとともに、本部事業の充実と、より魅力ある事業展開を図るため、「チャレンジジュニアスポーツクラブ」に関しては、地域スポーツサポート事業の活用など、今後の事業のあり方について検討します。

Ⅱ 事業計画

1 企画事業（事業予算額：30,157 千円）

（1）加盟団体等スポーツ普及事業【普及委員会】（事業予算額 5,540 千円）

スポーツ協会加盟団体が幅広い市民を対象にした「市民総合スポーツ大会」や広く門戸を開いた「スポーツ教室」を開催します。

①市民総合スポーツ大会

- ・加盟 42 団体（中体連，高体連を除く）がスポーツ競技，女性・少年スポーツ大会など約 80 大会（約 50,000 人参加）を開催します。

②加盟団体スポーツ教室

- ・初心者から愛好家，子どもから高齢者までを対象にした多種多様なスポーツ教室を開催します。（15 教室）



スキー教室

（2）加盟団体強化事業【強化委員会】（事業予算額 8,144 千円）

スポーツ協会加盟団体の強化事業として，組織強化，選手強化，指導力強化などの成果を上げるために各種事業を行います。

①加盟団体組織整備強化

- ・加盟団体組織の基盤整備，競技力及び指導力向上を目的にした事業に対して助成を行います。（44 団体）

②少年スポーツ大会

- ・ジュニア層の競技力向上を図るため少年対象の大会開催経費を助成します。（8 団体）

③コーチングクリニック

- ・ジュニア層指導者の資質向上を図るために講習会等を開催します。



コーチングクリニック

④県民体育大会予選会等

- ・県民体育大会出場のための選手選抜ならびに選手強化を図るための予選会などの経費を助成します。（13 団体）

⑤国際交流事業

- ・スポーツを通して国際親善を深めることを目的とした国際交流事業を実施する団体を対象に経費を助成します。（4 団体）

(3) 表彰事業【表彰委員会】 (事業予算額 450千円)

本市スポーツの普及と振興に寄与し、その功績が顕著な団体及び個人、また各スポーツ大会において優秀な成績を収めた団体及び個人に対して、表彰を行います。

- ・開催日 平成26年3月上旬(予定)



平成24年度スポーツ協会表彰式

(4) 福岡市スポーツ少年団事業【福岡市スポーツ少年団】 (事業予算額 3,301千円)

青少年にスポーツの喜びを与えると同時に、心身の健全な育成を図っていくことは福岡市スポーツ少年団の大きな使命であり、その実現のために様々な事業を展開します。

(毎年度登録 24年度実績：69団体、指導者179人、団員1,195人)

①スポーツ少年団本部事業

- ・すべてのスポーツ少年団の登録団体が参加可能な事業(宿泊交歓会、ヨット・スケート体験教室等)や育成母集団研修を行います。

②チャレンジジュニアスポーツクラブ

- ・スポーツをするきっかけづくりのため、様々なスポーツやレクリエーションの体験などをおして、スポーツの楽しさを子ども達に提供します。

③全国大会等参加

- ・スポーツ少年団単位団の地区大会や全国大会等の出場に対して助成を行います。

④少年スポーツ交流大会

- ・各種競技ごとに開催されるスポーツ交流大会の運営等に対して助成を行い、スポーツ少年団登録単位団相互の交流と新規登録単位団の加入促進を目指します。



(5) スポーツ普及啓発事業 (事業予算額 8,439千円)

- ・市民がスポーツへの関心や理解を深め、スポーツ活動への参加意欲を高めるために本協会のホームページ、広報誌、情報紙などの充実に努め、確かなスポーツ情報を提供します。あわせて、市民のニーズに合ったスポーツの普及事業を行います。

①スポーツ情報の収集及び提供【広報委員会】

- ・市民のスポーツニーズ等の把握に努めるとともに、スポーツ施設や各種事業等についての情報収集とホームページや市政だよりをとおして、市民へ情報の提供を行います。

②広報誌、情報紙の発行【広報委員会】

- ・加盟団体の活動、大会情報、イベント情報等、様々なスポーツ情報を広く市民に提供するため、広報誌及び情報紙を発行します。



スポーツ協会HP

ア 広報誌「おっしょい福スポ」

年3回 各13,000部発行
様々なスポーツ情報を幅広く発信します。

イ 情報紙「おっしょい福スポかわら版」

年6回 各13,000部発行
加盟団体イベントや施設のスポーツ教室等を紹介します。

- ・配布先 加盟団体及び地区体育施設や区役所などで配布するとともに、幅広い市民の目に触れる機会を増やします。



③スタージャンプ福岡活動【普及委員会】

福岡に活動拠点を置くプロスポーツチームと協力をし、様々なボールを使った遊びを通じて、子ども達や保護者にスポーツの素晴らしさや体を動かすことの楽しさを体感させるスポーツイベントを実施します。

ア こどもスポーツフェスタ

- ・実施日 平成25年6月下旬(予定)
- ・参加予定 150人

イ 親子スポーツフェスタ

- ・実施日 平成25年10月下旬(予定)
- ・参加予定 500人



親子スポーツフェスタ

④地域スポーツサポート事業【普及委員会】【スポーツリーダー・バンク運営委員会】

地域と各種スポーツ団体との交流をサポートし、地域における生涯スポーツの確立に貢献します。

(6) スポーツ教室事業【普及委員会】 (事業予算額 1,376千円)

市民一人ひとりが、日常生活の中にスポーツを取り入れるきっかけづくりとしての、各種スポーツ・レクリエーション教室等を実施します。

①スポーツ教室等の実施

スポーツの楽しさを伝えるスポーツ教室、スポーツ競技のルール等の解説を加えたスポーツ観戦教室等を実施します。

(バレーボール観戦教室、スポーツ体験教室など)



バレーボール観戦教室

(7) 人材育成事業 (事業予算額 2,907 千円)

市民の多様なスポーツ・レクリエーション活動を支援するため、スポーツリーダー・バンクの運営、並びに指導者の養成を図るための講習会等を実施します。

①生涯スポーツ講座【スポーツリーダー・バンク運営委員会】

多様なスポーツ・レクリエーション活動に必要な基本的内容の講座を実施することにより、スポーツ指導者の養成を行います。あわせて、日体協スポーツリーダー資格取得研修の位置づけで行います。

- ・対象者 地域でスポーツ・レクリエーション活動の指導者として活動している人、並びにこれから指導者を目指そうとしている人、既にスポーツリーダー・バンクに登録している人
- ・内容 生涯スポーツ概論、スポーツと栄養、ジュニアのスポーツ指導、スポーツ指導の一般理論など
- ・期間・回数 平成26年1月～2月 (全15回)
- ・定員 50人



②スポーツリーダー・バンク【スポーツリーダー・バンク運営委員会】

ア スポーツリーダー派遣・紹介

スポーツ指導者の派遣要請に対して、スポーツリーダー・バンク登録指導者を積極的に派遣・紹介するとともに、各団体（サークル等）に対し、派遣費用の一部を助成します。

イ スポーツリーダー研修会

指導者（登録指導者含む）の指導力向上とスポーツリーダー・バンクへの新規登録等を目的として、加盟団体が実施する各種研修事業に対し助成を行います。

③女性スポーツ指導者育成事業【普及委員会】

女性スポーツの振興・発展・普及を目的として、女性スポーツ指導者の養成・資質の向上を図るための研修等を実施するほか、女性スポーツ団体として幅広い市民を対象にスポーツイベントを開催します。



④スポーツボランティア育成事業【普及委員会】

スポーツボランティアとしての資質向上のための研修の実施及びスポーツイベントやスポーツ教室においてボランティアとして活動できる機会を提供します。

2 指定管理事業（事業予算額 584,203 千円）

指定管理施設については、福岡市の拠点スポーツ施設 2 施設及び市民の身近な施設である地区体育館等 4 施設の計 6 施設を管理運営します。

■福岡市の拠点スポーツ施設（2 施設）

- ・福岡市民体育館
- ・総合西市民プール

■地区体育館等（4 施設）

- ・東体育館
- ・中央体育館
- ・西体育館
- ・ももち体育館

（1）福岡市の拠点スポーツ施設の指定管理事業（事業予算額 405,572 千円）

福岡市民体育館及び総合西市民プールの管理運営にあたっては、大規模大会の利用に際して、円滑な運営ができるように努め、様々な専用利用においても公平性を確保しながら、市民の健康づくりやコミュニティづくりの場としての運営に力を注いでいきます。

あわせて、初心者向けのスポーツ教室及びフォローアップ教室等の実施や各自の体力に応じた運動を自主的・継続的に行えるよう、ストレッチやレクリエーションダンス、実技、水泳指導、水中体操等の指導を行います。

また、子どもの日及び体育の日に体育館・プールの無料開放事業を行います。



福岡市民体育館



総合西市民プール

（2）地区体育館等の指定管理事業（事業予算額 178,631 千円）

東体育館、中央体育館、西体育館、ももち体育館の管理運営にあたっては、市民が気軽にスポーツが楽しめ、健康の増進に寄与できる施設運営を行い、地域性にも配慮した初心者向けのスポーツ教室及びフォローアップ教室等の実施や保健福祉センターとタイアップして健康づくり運動事業など各種事業を行います。

また、各自の体力に応じた運動を自主的・継続的に行えるよう、トレーニング室での実技指導のほか、ストレッチやレクリエーションダンス等を行うとともに、子どもの日及び体育の日に体育館無料開放事業を行います。



東体育館



ももち体育館

3 民間指定管理者からのスポーツ施設運營業務の一部受託事業

(1) 城南・早良体育館管理運営の受託事業（事業予算額 2,120 千円）

城南・早良体育館は、民間事業者の指定管理施設ですが、スポーツ教室事業を中心とする運營業務は、本協会が指定管理者からの委託を受け行います。

このため、本協会のスポーツ指導員をそれぞれの体育館に勤務させ、スポーツ教室の企画立案、トレーニング指導、コミネット等の業務を行います。

4 主催・共催事業

(1) 主催事業

①第 27 回 市民総合スポーツ大会【普及委員会】

市民によるスポーツへの関心と参加意欲の高揚を図るため、市民スポーツの祭典として、加盟団体と連携し「市民総合スポーツ大会」を開催します。

- 主 催 福岡市、福岡市教育委員会、
(公財)福岡市スポーツ協会、
NPO法人福岡市レクリエーション協会、福岡市スポーツ推進委員協議会、
福岡市障がい者スポーツ・レクリエーション振興会、各区体育振興会
- 開催期日

| | |
|-----------------|-----------------------|
| スポーツ競技大会 | (約 45 大会, 約 25,000 人) |
| 女性スポーツ競技大会 | (約 13 大会, 約 15,000 人) |
| 少年スポーツ交流競技大会 | (約 26 大会, 約 15,000 人) |
| レクリエーション大会 | (約 7 大会, 約 3,000 人) |
| 障がい者スポーツ大会 | (約 14 大会, 約 2,000 人) |
| その他 (スポーツ写真展など) | (応募者 約 40 人) |
| 計 | 約 105 大会 約 60,000 人 |

- 会 場 市内スポーツ施設

- 総合開会式 平成 25 年 10 月 14 日 (祝・月) (会 場: 平和台陸上競技場)
(参加者: 約 13,000 人)



②福岡市・釜山廣域市スポーツ交流事業【強化委員会】

スポーツにおける国際交流及びジュニア層の競技力向上を目的に、福岡市と姉妹都市である釜山廣域市との間で、両市の高校生を対象にスポーツの交流大会を開催します。

- ・主 催 福岡市、福岡市教育委員会、(公財)福岡市スポーツ協会、釜山廣域市、釜山廣域市体育会
- ・開催日 平成 25 年 8 月 21 日 (水)～23 日 (金)
- ・内 容 例年開催している福岡市と釜山廣域市の
トップクラスの高校生によるスポーツ交
流大会を福岡市で開催 (受入) する。
- ・参加選手 福岡市 150 人 釜山廣域市 100 人



③シティマラソン福岡 2013

幅広い市民の参加はもちろん、全国から多くの参加者を募る福岡市のスポーツイベントとして全国にアピールする市民マラソンを開催します。

- ・主催 福岡市，福岡市教育委員会，(公財)福岡市スポーツ協会
- ・開催期日 平成 25 年 11 月 (予定)
- ・会場 ヤフオクドームをスタート，ゴールとするコース
- ・参加予定
ハーフマラソン 5,500 人
5 km 2,500 人
計 8,000 人

[平成 24 年度から事務局を福岡市に移管]



④福岡県民体育大会 福岡市選手団【強化委員会】

福岡県民体育大会 郡市対抗競技大会へ参加するため、福岡市選手団を組織して各大会へ選手・役員を派遣します。

- ・主催 福岡市，(公財)福岡市スポーツ協会
- ・大会期日
夏季大会 平成 25 年 8 月 25 日 (日) (予定)
秋季大会 平成 25 年 9 月 21, 22 日 (土・日) (予定)
冬季大会 平成 26 年 1 月 26 日 (日) (予定)
- ・派遣人数 15 種目 約 340 人
- ・選手団結団式 平成 25 年 9 月 13 日 (金) (予定)



選手団結団式

(2) 共催事業

①ウィンタースポーツフェスタ 2013

- ・主催 ウィンタースポーツフェスタ実行委員会
- ・共催 福岡市スケート連盟，福岡市，福岡市教育委員会，(公財)福岡市スポーツ協会，西部ガス興商(株)
- ・開催期日 平成 25 年 11 月下旬 (予定)
- ・会場 パピオアイスアリーナ
- ・参加予定 3,000 人



②2014 FUKUOKA indoor 3on3

- ・主催 2014 FUKUOKA indoor 3on3 実行委員会
- ・共催 福岡市バスケットボール協会，(公財)福岡市スポーツ協会，福岡市
- ・開催期日 平成 26 年 3 月 15 日 (土) (予定)
- ・会場 福岡市民体育館
- ・参加予定
小学生の部 男子 24 チーム，女子 24 チーム
中学生の部 男子 24 チーム，女子 24 チーム
オープンの部 男子 24 チーム，女子 24 チーム



③ビーチバレー大会 (KYUSHU SUN-CUP' 13)

- ・主 催 KYUSHU SUN-CUP 実行委員会
- ・共 催 NPO 法人九州ビーチバレーリーグ, 日本
ビーチバレー連盟, (公財) 福岡市スポーツ協
会
- ・開催期日 平成 25 年 8 月 4 日 (日), 11 日 (日) (予定)
- ・会 場 シーサイドももち海浜公園
- ・参加予定 350 チーム, 2,000 人



④福岡トライアスロンフェスタ 2013

- ・主 催 福岡トライアスロンフェスタ実行委員会
- ・共 催 福岡県トライアスロン連合, (社) 日本トライ
アスロン連合, (公財) 福岡市スポーツ協会,
(一財) 公園財団
- ・開催期日 平成 25 年 10 月上旬 (予定)
- ・会 場 海の中道海浜公園 (予定)
- ・参加予定 駅伝の部 250 チーム, 750 人
スーパースプリント 50 人
計 800 人

